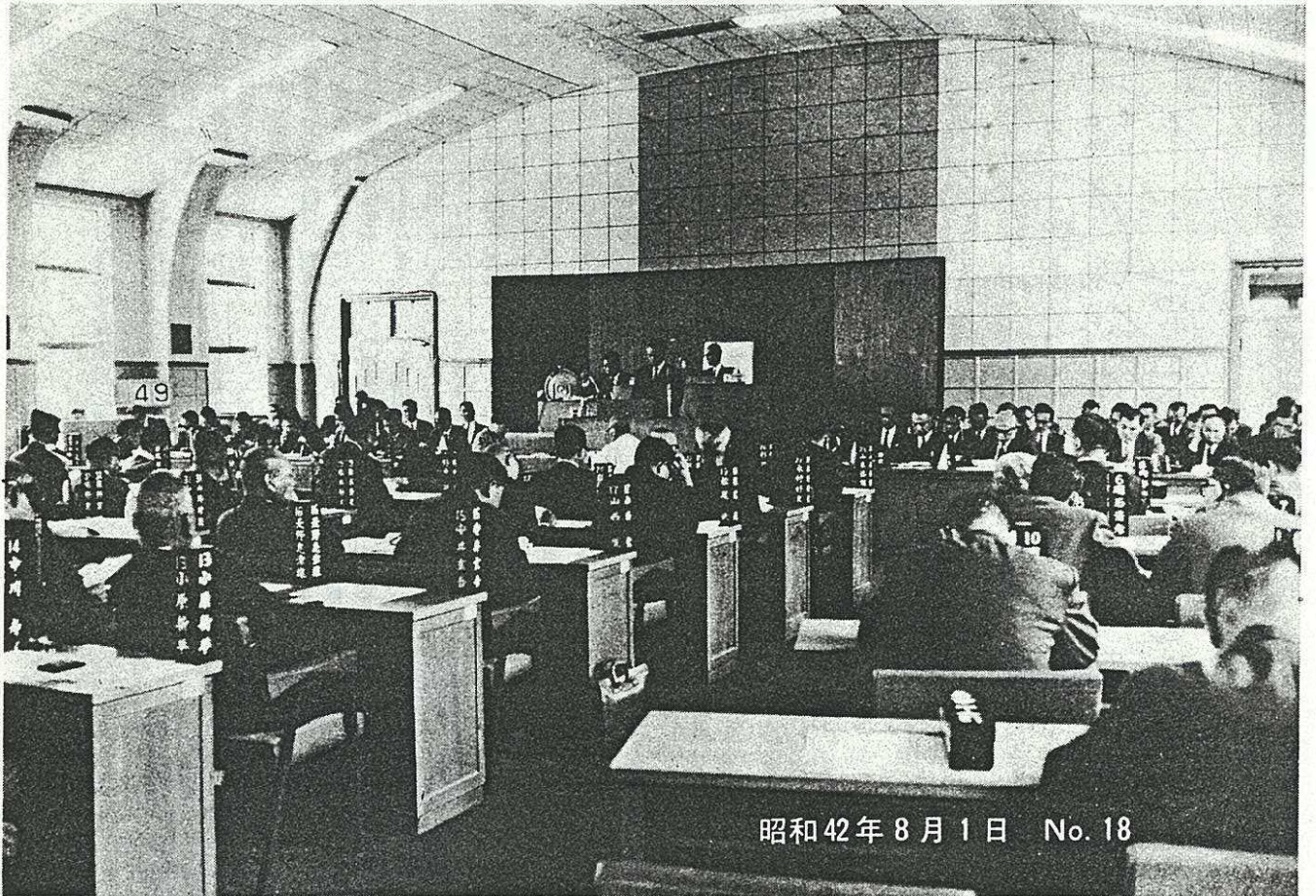


市議会だより



昭和42年8月1日 No. 18

六月定例会

六月定例会市議会は六月十五日に開会され会期を七月六日までの二十二日間と決めたのち、市長の施政方針の説明等のあと、議案研究のために休会にしました。

六月二十一日各会派の代表質問を皮切りに本格的審議に入り、四日間にわたってILO関係議案、交通事業再建問題、清掃行政をはじめ市政全般についての質問が行なわれました。

質問終了後、予算特別委員会の設置を決め、更に三つの分科会にわかれて慎重に審査しました。

七月三日早朝から本会議開会阻止のためILO共斗会議、交通局労組等が議事室内に座り込み相当混乱しましたが、約六時間遅れて開会され、提案された昭和四十二年度一般会計予算をはじめとする四十二議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、七月六日の本会議では、追加議案二件のうち一件については原案可決、一件については原案に同意しました。

なお、このあと選挙管理委員会委員等の選挙を行なったのち、議員提案による健康保険法等臨時特例法案に対する意見書ほか一件が提案されましたが、賛成者少数のため否決されました。

算決まる



予算特別委員会

四十二年度予算を審議するため、六月二十四日の本会議で設置された予算特別委員会は、三つの分科会にわかれ七日間にわたって、詳細に審査を行いました。以下、論議の焦点や要望事項など審議のあらましについてお知らせします。

明るい町づくりのために

市長の予算編成に対する考え方

昭和四十二年度一般会計予算は第四図で明らかのように、前年度と比較して災害復旧費の三百九十九・五%を筆頭に建築行政費四十二・二%、民生費四十一・一%、農林水産業費二十八・四%、教育費二十七・九%、清掃費二十三・五%などの増加が目立ちます。ではこの予算はどのような考え方のもとに編成されたのでしょうか。

- 一、生活環境の整備されたきれいな町づくり
 - 清掃事業の近代化をはかり、ごみ週二回、し尿二十日に一巡の実現
 - 市場、学校を中心とした半径二百メートル以内の主要道路の整備
 - 住宅難の緩和をはかるために低所得者むけの公営住宅、改良住宅の建設
- 二、教育文化と市民福祉の充実したすこやかな町づくり
 - 学校保健関係と給食関係経費を重点とした父兄負担の軽減
 - 地域社会教育の推進と市民の情操をゆたかにし、文化体育の向上をはかるとともに青少年の健全な育成をするための助成
- 三、産業と都市基盤の充実したゆたかな町づくり
 - 中小商工業の育成、指導
 - 農林漁業の近代化、企業化の指導、助成
 - 臨海工業用地を造成し、企業立地基盤の整備をはかる

市長は、提案理由の説明で次のように述べています。「市民優先の行政をおし進め、秩序正しい建設的な市政の姿を実現し、合併して本当によかったという実感が市民一人一人の胸にわたってくるような明るい町づくりを目標に努力します。そのためには、

- 一、生活環境の整備されたきれいな町づくり
- 二、教育文化と市民福祉の充実したすこやかな町づくり
- 三、産業と都市基盤の充実したゆたかな町づくり



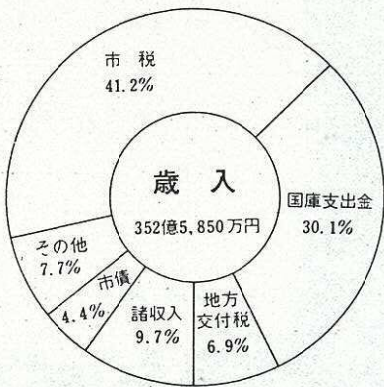
提案理由の説明

予算の概要

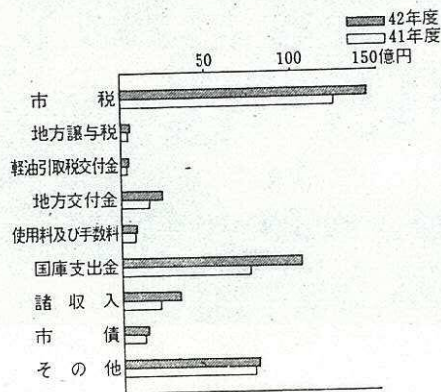
北九州市の昭和四十二年年度予算は、総額六百九十一億九千九百六万一千円と決まりました。この予算を前年度と比較してみると二十七・二%、四百七十七億八千五百三十八万三千円と相当大幅な増加を示しています。

その内訳は、一般会計三百五十二億五千八百五十万五千円、普通特別会計(国民健康保険、中央卸売市場、北九州大学など十八会計)百九十九億四千八百九十二万八千円、企業会計(水道事業、病院事業など四会計)百三十九億六千二百八十八万五千円となっています。このうち、一般会計予算についてみると前年度と比較して歳入歳出とも二十八・三%、七十七億七千四百五十万五千円増加しています。

42年度一般会計の内訳 (第1図)



歳入の前年度比 (第3図)



により市税は、十五・八%、十九億八千五百九十九万八千円伸びています。また地方交付税や国庫支出金も四十%以上増加しています。

次に歳出についてみると、大別して将来住民の福祉となつて形を残さず消えてしまうような消費的経費(人件費、扶助費など)と直接住民の利益となつてはねかえってくる投資的経費(建設事業、失対事業など)とその他の経費の三つに分けられます。

四十二年度のその割合は消費的経費六十四・六%(四十一年度六十五・五%)、投資的経費二十三・四%(二十二・五%)、その他の経費十二・〇%(十二・五%)と前年度より消費的経費が減少して、投資的経費がやや増加しています。

また目的別にみると第四図で明らかのように、建築行政費と民生費が約四十%増加していますが、建築行政費の増は低所得者むけの公営住宅、改良住宅を前年度より八十七戸増やしたのと住宅関係等貸付金を増やしたためです。

また民生費については、生活保護世帯の増加と生活水準の向上にあわせて生活保護基準の引き上げがなされ前年度より二十四億六千六百六十八万一千円増加したためです。

なお人件費は歳出予算の二十八・七%をしめ、前年度の構成比三十七・五%よりやや減少していますが、実質ではベースアップ等により十四億六千三百六十六万二千円増加しており、市税の約四十三%が人件費に使われることになりました。

歳入には市税や使用料のように市自身で徴収する自主財源と地方交付税や国庫支出金のように国や県から交付を受ける依存財源とがあります。四十二年度のその割合は自主財源 五十四・八%(四十一年度 五十八・八%)、依存財源 四十五・二%(四十一年度 四十二・二%)となっています。前年度に比べ自主財源の割合が低くなっているのは、予算規模が大きくなったため、実際には景気の上昇や地方税法の一部改正

42年度予



精薄施設を早く

精薄児は、市内に七百人位いると推定されますが、収容施設は全然なく、通園施設として「ひまわり学園」があるだけです。しかし、この施設を利用できるのは対象児のうちわずかで、大部分は家庭保護という名目で、家庭

の片すみに放置されています。これら恵まれない親と子のしあわせのために、専門家による個別指導、集団指導等の適切な保護を行なうとともに、将来社会に復帰できる適応力を高めるための生活学習、職業指導を行なう総合精神薄弱者収容施設を早急に設置するように。

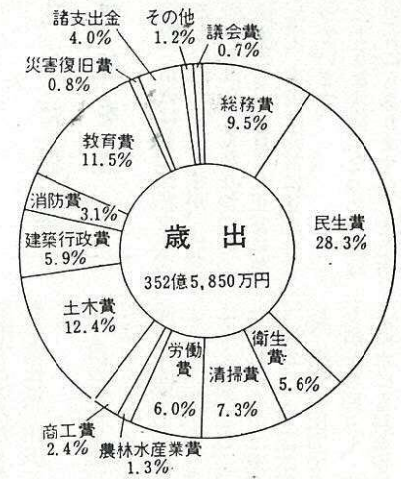
防犯灯の

料金を

無料に

防犯灯の電灯料金は、現在各町内会で負担していますが、そのため住民の負担が非常に多くなっています。防犯灯の料金全額免除について関係官庁に働きかけるように。

42年度一般会計の内訳 (第2図)



歳出の前年度比 (第4図)



やみ業者をなくせ

し尿、ごみの収集

清掃行政は、市長の重点施策の一つであり、また昨年の清掃紛争により市民に大きな迷惑をかけた。今後の清掃行政の運営については市民が非常に関心をもっています。また委託業者の中には、しばしば料金の不正徴収をしたり、やみ業者の問題など市民に多大の迷惑をおよぼしている現状を十分把握して問題の究明につとめるとともに今後の指導、育成を強化するように。

宅地資金の あっせんを

マスタープラン実施計画による住宅難の解消は、大部分を民間の

連絡組織の 統一について

末端事務の市政に占める割合は、極めて重要なものがあります。今回提案された「市と市民との連絡制度の統一」の主な内容は、市と市民との連絡制度の統一、現在の嘱託制度の廃止、末端行政連絡事務の整理、統合、軽易な事務のみを自治組織に委託

一、自治組織へ必要な助成措置というものです。これに対し自治組織のあり方と市の方針、経費、実施時期などについて質疑がかわされました。一部の委員から「この案は、市民の自主的組織に市が介入し、統制を図るものである。未組織地域に対する措置はどうか」等の意見が述べられ、「実施にあたっては、常任委員会で十分検討したうえで措置します。」との答弁があり、その方法等については常任

委員会で審査することになりました。た。生ワクチンの 確保を市で

生ワクチンの 確保を市で

昨年度の日本脳炎患者の発生は百人にのぼり、そのうち四十六人が死亡しています。本年度は、一般市民も日本脳炎に対する認識が高まり、接種率は六月三十日現在で約六十万人と昨年の四十二万人にくらべ五割増の高率を示しています。



日脳予防接種

しかし、生ワクチンの不足のために、予防接種を受けに行っても受けられない市民が出ています。生ワクチンの確保は、医師会にまかしていることですが、市民の健康保持のためにも日本脳炎対策は、衛生局の最も比重の大きな任務であり、生ワクチンの確保についても、市の責任においてなされるべきだと思います。慎重に検討して、日本脳炎対策に万全を期すようなどの要望をしました。

質疑応答

六月二十一日から二十
四日まで、十六名の議員
から予算に対する質疑や
市政全般についての質問
がありました。
以下はその要旨です。

基幹道路の整備に重点

交通の緩和、安全対策上

A議員 市長は「ゆたかな町づくり」という名のもとに、産業基盤の整備をして、大企業のために北九州市政を奉仕させようとしていますが、市民の生活環境施設をあとまわしにしても、数億円を投じて基幹道路の整備を図るなど産業基盤の整備に重点をおこうとしている政治姿勢はいかなる目的によるものかお聞きしたい。

市長 基幹道路は大産業のみが使用するものではありません。これを整備することにより、市内の交通の緩和、交通安全対策の確立にも役立つものですから、その点ご理解をいただきたいと思えます。

「子どもと母の家」を建設

B議員 既設の大型公園の中に「子どもと母の家」を建設し、施設を通じて母と子どもがより深いつながりを持つようにという趣旨には賛成します。

しかしながら、公園の設備は不十分で、殺人、傷害事件があとを絶たない現状で、新しい試みの施設を作るより、公園として必要な設備を完備したうえで作るべきではありませんか。

市長 「子どもと母の家」は今のまでの児童館と異なり、お母さんと子どもの気持ちを通いあわせる場として、また公園の利用度を高めつつ、公園施設と一体となって利用されるような施設を作るものです。新しいタイプの施設ですから運営の方法については、今後地元のかたがたと十分話し合ったうえで決めたいと思います。

乱れた労使関係を正す

C議員 市長は労使関係を正常化するといわれていますが、昨年の清掃紛争以来よくなりつつあった清掃業務も、今日また正常に処理されず、市民は非常に迷惑をおもっています。

このような状態になった原因は労働組合にもありますが、また市の機構にもあると思います。その一つは幹部職員の管理指導がおろそかで、職制における責任

感が不足しているためといえます。末端の労務管理体制はどのようになっているのかお尋ねします。

市長 今のような乱れた労使関係ができたのは、管理者の姿勢に誤りがあったのではないかと感じています。

市政の姿も変りましたので、今後は市民の信託を受けて仕事をやっているのだという自覚に立ち、き然とした態度で事に臨むという考え方に管理者の思想を統一していきたいと思っています。

我慢してほしい

断水中の料金

D議員 「快適な暮らしのリズム」蛇口から「本市の水道施設の規模は、九州では第一位、全国で第七位です。」と水道行政を自画自賛しながら、抜き打ち的に三割給水制限、夜間九時間の断水に踏み切りました。

これは水道行政における無計画を余すところなく暴露したものでその責任は、市長にあるといえます。

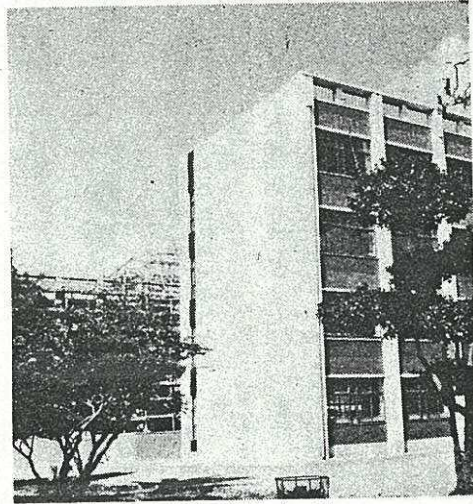
今回の断水措置は、決して天災ではなく、工業用水優先、企業性重視の水道行政を強行した結果による政治的人災である以上、市民に与えた損害は、当然市が補償しなければなりません。

断水により配水管に空気が充滿し、空気の圧力で各家庭のメーターがから回りし、さらに濁って使えぬ水にも料金を徴収することになるのかどうか明らかにしてください。

市長 給水制限をするという事

態については、確かに見通しの甘さがあったわけで、私の責任を痛感しています。

料金問題については、制限に伴うやむを得ない制約ですから、市民におきましては、いへん忍痛ですが、その犠牲を忍んでいただくほかはないと思います。



北九州大学

大学の充実を

総合大学へは段階的に

E議員 北九州市のマスタープランに、文教計画の柱の一つとして総合大学の設置があげられています。

大学は、今日の大都市にとって欠くことのできない存在であり、都市の未来を背負う新しい能力を育てあげる人間開発の機関であると思えます。

郷土百年の大計にたつて、北九州大学を早急に総合大学として確立するため、さん新で積極的な展望と方針をうかがいたい。

市長 北九州大学は、本市の文

化水準を高め、市民の有能な後継者を育てるという趣旨で設定され、今日まで引き継がれてきました。

第一段階の目標は、文科系の複合大学として充実し、さらに百万都市にふさわしい立派な大学に育てあげるのが将来の理想像です。これを一挙に総合大学にするのは、マズ

口教育あるいは施設が非常に不完全なままに不満な教育をするなど危険性を伴うので、この問題は順をおって解決したいと考えています。

今のところ総合大学化については、相当多額の経費を要するので、実現の年次については、はっきり申し上げられません。

常時監視と診断

体制の強化

公害対策

F議員 北九州市は、市長のいわれる「きれいな町づくり」とはるかに縁遠い、全国でも有数の公害都市となっています。

現に市民の苦情、陳情において、公害に関するものが年間二百五件にもおよび、これらはすべてやむにやまれぬ市民の申し立てで

予算面では、公害防止対策に積極的に取り組む決意が見受けられますが、全く野放し状態のこの公害に対し、どのような方法をとる考えですか。

市長 本年度は、常時監視と診断体制を一層強化し、本市特有の高度別乱気流調査を行ないます。基本的な公害発生源に対する措置が不十分ですが、国においても公害対策基本法の制定を間近に控えていますので、これを機会に更に推し進めていきたいと考えています。

公設小売市場の建設

調査はじめる

G議員 官営スーパーは地元の中小企業者に悪影響を与え、また古手職員の理事送り込みも懸念されます。

市長 この公設小売市場は「国の政策に添って」と説明していますが、食料品総合小売市場管理法との関係についてお聞きしたい。

市長 公設小売市場は日常の生活が民営のマーケットで十分事足りている地域に設けるものではありません。新しくできる団地など、採算面で問題のある場所に市で設備し、高い敷金や入居料なしに小売店が進出でき、安い値段で品物をおくというところが、市民の消費生活の安定をはかるといふ意味で有効だと思ひ、調査費を計上したものです。市の古手職員を送り込むという気など毛頭ありません。

本年度中に着手したい

市庁舎の建設

H議員 本庁舎建設費として五千万円が計上されているが、庁舎建設は、合併当初から重要項目の一つとして、鋭意調査研究が進められてきました。

以来、すでに四年有余を経過してもはや研究段階を終え、いまや早急に建設に着手すべき時期にきているのではないかと、どうですか。

市長 新庁舎の建設は、合併の象徴であり、また行政効率向上のために欠かせない問題です。ひいては市民の利便のためにも早急に建設すべきものと考えています。現在、建設位置の問題で再調査をするため手配中で、従来のいきさつも尊重し、議会の意向も十分考慮しながら早急に結論を出し、今年度中に建設に着手したい。

市営住宅を低所得者に

I議員 中小企業従業員の福祉対策として、最低の給与と劣悪な労働条件のもとで働くこれら従業員の生活を守り、異常に増高する生活保護世帯への転落防止のためにも、従業員に生活補助金を支給する考えはありませんか。

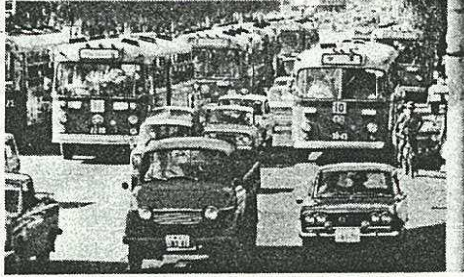
また、市営住宅における高所得者の居すわりの問題を解決しなければならぬことはもちろんですが、管理人という名目で優先入

居している高所得者の市職員は、別に市で住宅対策を考え、かわりに中小企業従業員が入居できるようにするなどの考えはありませんか。

市長 生活保護世帯増の原因として、中小企業の低賃金が大きな背景となっていることは否定できません。

国でも最低賃金の改正の動きがあり、市においても中小企業の経営の近代化、協業化という面で補助、育成していきたいと思っております。

建築局長 市営住宅の一般入居者の中には、管理人になりたがらない人が多く、また住宅管理のためから市の機構をよく知って命を懸けています。最近、情勢も変わってきましたので現在再検討しています。



交通ラッシュ

交通事故相談所設置に努力する

J議員 現在、交通地獄は、そ

の極に達し、まさに一種の公害ともなっています。

産業発展の基幹としての道路対策もさることながら、交通事故防止および交通難解消のための対策がたてられています。

事故補償問題等について、市民相談室では責任ある方法は示されないのが現状です。

市民相談室とは別個に、独立した交通事故相談所を設置すべきだと思いませんか。

市長 市内の交通が混雑化するに伴い、交通事故もふえていますので安全の面あるいは救急医療施設の整備については、現在各警察署と小倉弁護士会ほか二か所で行なっています。

国において、本年度の予算に交通事故相談所設置の補助金を計上し、設置は都道府県がします。したがって本市内にもぜひ設置してもらおうよう陳情し、目下県と交渉中です。

市内電話料金の統一を

早急に

L議員 電話料金の統一は、百万市民が合併の時、何よりも期待していたものであり、合併スローガンの一つでもありました。

百万市民の文化発展に欠くことのできな重要な要素を占める通信が電話であるならば、料金統一に全力をあげて取り組むべきだと思いますが、どのように考えているのですか。

市長 せんだつての閣議で佐藤総理からじきじきに電話料金統一の問題が出され、閣議の席上では非常に好意的な結論が出たようです。

しかし電電公社としては「全国的に都市の合併があり、そのために市内料金の統一問題を持ち込んでも経営上非常に大きな投資を

不正受給者の絶滅に努める

生活保護

K議員 生活保護費の不正受給者は、きびしい批判にもかかわらず、谷市政発足後も依然としてあつたを断たない現状にあります。

不正受給者が、自らの生活態度が反社会的であることを自覚して積極的に勤労意欲をおこすような行政指導を行ない、不正と意図を憎む世論の盛りあがりが必要であると思いませんか。

民へのサービスの面で、直営と民営のどちらが効率的運営をすることができるか検討をしなければなりません。

現在、直営作業について、市民からきびしい批判をされていますので、一度科学的なデータをつかんで検討する必要があると痛感しています。

校舎の改善は長期整備計画で

N議員 文化不毛の地といわれる北九州市の都市づくりにあたり、あすの北九州市をになら教育ある健康な市民を育てるため、義務教育の持つ意義はきわめて重要であり、この充実のため教育施設特に義務教育における施設の整備と充実は早急に解決すべき問題であると思いませんか。

学校施設、特に特別教室は、文部省の基準に対して、小学校三十九%、中学校六十四%と非常に低い保有数を示しています。これら施設の充実のため、起債等あらゆる財源の確保につとめられ、文部省の基準にまで引き上げべきだと思いませんか。

市長 本市の教育施設は、老朽化している施設が多いことは事実です。他の政令指定都市と比較しても、不燃性建物の割合が非常に低く、危険校舎も相当数あります。義務教育施設の整備には今後も相当多額の費用を要しますが、教育委員会が定めた長期整備計画にもつづき、予算を特別に配分して増改築に努力したいと考えています。

直営作業を再検討する

清掃事業

M議員 市長の方針の中に「清掃作業を百%直営化するという従来の方針については、再検討を加える必要がある。」とあるのは、本市の清掃行政に逆行し、市民の望む直営の方向から下請け民営の方向にむかっています。

清掃法等では、市町村の責任を明らかにし、特別清掃地域内の汚物については、市町村の責任において計画処理を行なうことを義務づけ、市町村自ら行なう収集処分の方法と市町村以外の者に委託する場合の基準とを明確にし、直営が特に困難な場合はほか委託の許可はあり得ないものとしています。

この清掃法の精神に逆行する委託強化の方針をとる市長の真意を明らかにしてください。

市長 清掃事業については、市

行政区域を、再編成

○議員 行政区域再編成の問題については、調査費として、わずかに二百万円が予算が計上されているにすぎません。

旧市の区域が、そのまま現在の行政区として残っていることは、その境界付近で生じているいろいろの矛盾の解消を妨げ、各区間の行政レベルに格差を生じさせます。

少なくとも全市的の一体感と大きな視野を育てるためにも、合理的な行政区の再編成が望まれますが、この問題について、どのように対処されますか。

市長 行政区の再編成については、昭和四十二年二月に策定された北九州市長期総合計画に、合理的再編成をすべきであるとうたっています。

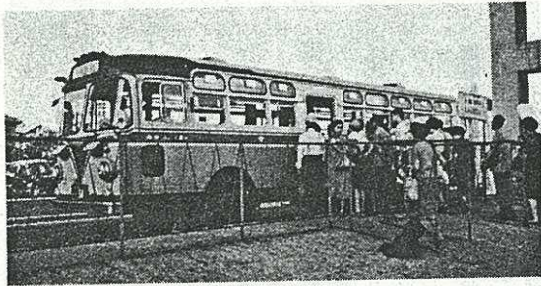
したがって、四十二年度末答申を目前に、諮問機関を設置して再編成案の策定を諮問する考えです。

この問題は、行政の効率的な執行のためにも、真剣にとり組んでいきます。

「商業的農業」の育成を

— 都市近郊農業 —

P 議員 本市の農業形態は、近郊の急速な発展についていけず、商業的農業の姿勢をとることができなかつたため、マスタープランの中で「営農類型」としては、園芸



若松区民の足 市営バス

と畜産を主体とした専業経営もしくは水稲との複合経営として地域の集団産地育成の方向にもつていくべきだ」とうたわれているが、近郊農業として将来を考えるとこのマスタープランの構想を今後どのような基本的指導方針のもとに生かすつもりですか。

市長 都市近郊の農業は、人手が都市部に吸収され、ただでさえ就業人口の少ない農村は、兼業農家へ移行しています。また宅地造成により農地が次第に減少しているため、

このような姿の中で高い生産性をあげる農業の姿を見いださなければなりません。

大都市の中で農業を正確に位置づけし、市民にとって生鮮食料品の供給基地として、あるいは目を楽しませる緑地帯として保存する見地から農村対策を行ないたい。

そのためには生産性の高い果樹、野菜を集約的に生産する方向で「商業的農業」の育成につとめたい。

また流通機構の整備、生産物の価格安定の点から、農業における道路の整備もゆるがせにできないと思っています。

交通事業の再建は

九年で

Q 議員 バス事業再建の期間は自治省との折衝で十二年とする内諾を得ました。

これが谷市政の誕生によって、さらに有利な条件で進展するもの

と期待していたが、現実には九年実質的には八年という悪条件で再建計画が出されています。

これは自治省の指示によって、やむを得ずとった処置と思うがどうですか。

市長 自治省が再建企業債の発行を認め、これに対して利子補給をする立場上、各公営企業の管理者が提出した計画案をなんでもうのみにするとは考えられません。

企業債を有効に使ってもらいたいという立場から、いろいろ発言するのは当然です。

本市バス事業の体質改善をするためには、現実をみきわめ、実情をよく加味して、十二年では計画が甘すぎるという観点で九年にまとめ上げました。

したがって本市の再建計画は、自治省から押しつけられたものではありません。

保健所の事務取り扱い

について

さる二月定例会市議会で、文書回答を求めたR議員の質問に対し、市長から次のような答弁書が提出されました。

R 議員 元小倉警察署跡地に進出予定のダイエースーパー薬品部の開設申請については、市に権限のない事務を、なぜ保健所が取り扱わなければならないのですか。

また、ダイエー側と薬剤師会側との実測も相違しており、建築基準法に違反する場合でも開設を許可することができるとですか。

市長 医薬品販売業の許可の権限は、薬事法第二十六条にもつき、県知事にあります。福岡県条例薬事法施行細則第二条により、県知事または厚生大臣に提出する申請書、届書、その他の書類は、政令で定める市にあっては市長を経由しなければならぬと規定されており、保健所が受付業務を行なうものです。

また工務事務所、材料置場等の仮設建築物については、建築基準法第八十五条第二項の規定により確認申請の対象にはなりません。構造的にも防火地域の建築制限の適用は受けません。

工務事務所に店舗を設けることは、営業を始めた時点において建築基準法違反となります。

したがって、提出された申請書については、薬事法ならびに福岡県薬局等配置の基準を定める条例に適合している場合には、これを受付し、当然県あて進達しなければなりません。

実測図の相違点について当事者間に紛争があれば、この趣旨の理解を願う福岡県薬事審議会の決定により解決を図られるものと思います。

六月定例会で

可決された主な議案

- 四十二年度予算
 - 一般会計
 - 三五二億五、八五五万五、〇〇〇円
 - 普通特別会計
 - 一九九億四、八九二万八、〇〇〇円
 - 企業会計
 - 一三九億一六二万八、〇〇〇円
 - 計 六九一億九百六十一、〇〇〇円
 - 付属機関の設置に関する条例の一部を改正

市の行政区の編成について公正慎重を期するためおよび大里労働会館の運営について適正を期するため、市長の付属機関として北九州市行政区調査会および大里労働会館運営委員会を設置し、また、児童文化センターの運営について適正を期するため、教育委員会の付属機関として児童文化センター運営委員会を設置するもの。
 - 消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒および職務等に関する条例の一部改正

消防団員の報酬を改めるための一部改正です。
 - 市税条例の一部改正

地方税法の一部改正にともない、市税条例の一部を改正するものです。
 - 北九州市立戸畑会館条例の一部を改正

戸畑会館の婚礼式服の使用料を改定するためのものです。
 - 市立霊園条例の一部改正

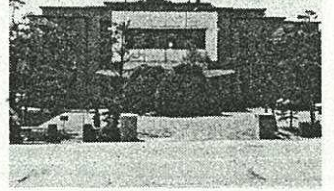
霊園の使用料および管理料を改正するものです。
 - 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例

地方公務員法の一部改正により、職員が給与を受けながら、職員団体のためその業務を行ない、または活動することができるとした場合の特例を定めるためのものです。
 - 北九州市交通事業財政再建計画

市の経営するバス事業および貨物電車事業（若松区）の赤字財政再建計画です。
 - 北九州市自動車事業、使用料および手数料条例の一部改正

市営バスの運賃および料金を改定するためのものです。

五月臨時会



五月六日、臨時市議会が開かれ、昭和四十二年度北九州市一般会計補正暫定予算などの専決処分報告四件と北九州市助役の選任など選任議案七件について審議しました。

専決処分の報告に対し、用地買収あるいは市有地の払い下げて全国的に汚職や不正が行なわれているとき、議会の審議を経ずに専決処分をすることは不明朗な感じを与えるなどの質疑が行なわれましたが、今後専決処分については必要やむを得ないものだけにすると市長答弁があり、専決処分四件については原案承認、選任議案七件については原案に同意しました。

このあと直方市北九州市岡森用水組合議会議員などの選挙を行ない、つぎのかたがたが選ばれました。(敬称略)

- 北九州市助役 松浦 功
- 北九州市教育委員会委員 松尾 四郎
- 北九州市人事委員会委員 中島 敬二
- 北九州市監査委員 遠藤 英夫
- 北九州市固定資産評価審査委員会委員 丸正 巳三
- 門司区 綾野 謙三
- 小倉区 宇野 豊彦
- 小倉区 小谷 公彦
- 若松区 葉山 正寛
- 八幡区 大寺 寛
- 戸畑区 菊地 義

北九州市農業共済損害評価委員

- 道谷 寛
- ほか八十三人

福岡県公安委員会委員

- 萩原 弘

人権擁護委員

- 横溝 義朗
- 二村 正巳
- 阿川 琢磨

直方市北九州市岡森用水組合議会議員

- 北九州市議会議員 岩尾 四十三郎
- 榎並 忠実

笹尾川水利組合議会議員

- 北九州市議会議員 鷹木 行雄

福岡都市計画地方審議会委員

- 北九州市議会議員 都留 鶴夫
- 鷹木 行雄
- 森山 俊行
- 天野 源三
- 岡野 義信
- 内原 西吉
- 古賀 政吉

農業委員会委員

- 門司区農業委員会委員 中島 留鳥
- 小倉区農業委員会委員 榎本 義公
- 八幡区農業委員会委員 榎本 義公
- 戸畑区農業委員会委員 榎本 義公

三億八千万円の繰上げ充用

五月二十九日、臨時市議会が開かれました。

この臨時市議会では、自動車事故損害賠償額の決定の専決処分報告二件と昭和四十二年北九州市一般会計補正暫定予算ほか二件について審議しました。

一般会計および国民健康保険など特別会計の補正は、四十一年度までの累積赤字一般会計三億八千万円、特別会計一億九千四百万円に四十二年度の予算から繰り上げてあてるためのものです。

これらの議案は、所管の常任委員会審査されたのち、専決処分の報告二件については原案承認、補正暫定予算三件については原案のとおり可決しました。

人事紹介

六月定例市議会で、つぎのかたがたが決まりました。(敬称略)

- 北九州市人事委員会委員 秦 亘
- 直方市北九州市岡森用水組合議会議員 藤高 三國
- 八幡区 藤岡 貝作
- 石松 富士夫
- 船川 不二夫
- 岩尾 四十三郎
- 榎並 忠実
- 北九州市議会 榎並 忠実
- 北九州市選挙管理委員会委員 榎並 忠実
- 小倉区 山本 泰蔵
- 村上 初平
- 松永 徳弘
- 戸田 慎蔵

請願書・陳情書は左横書きに

議会へ出される請願、陳情の数は、年々多くなつていますが、様式がまちまちのため、取り扱いに困っております。次の要領でお出しください。

- 請願・陳情は内容一件ごとに別冊にしてください。
- 請願者・陳情者が法人の場合は代表者が記名押印するほか、法人の印章を押印してください。
- 内容は簡単ないりょうにし、必要なものは略図をつけてください。

請願書	昭和	年	月	日
北九州市議会	議長	〇	〇	〇
紹介議員(請願のみ)	〇	〇	〇	〇
請願者	住所	〇	〇	〇
	氏名	〇	〇	〇
	件名	〇	〇	〇
趣旨	理由			



永年議員勤続など表彰されました

- 去る六月二十八日、永年勤続議員として、市政に功勞のあったかたがたが、全国市議会議長会から表彰されました。
- 市議会では、七月六日の本会議に先立ち、つぎのかたがたに表彰状の伝達を行いました。
- 特別表彰
 - 天野志津雄議員 議員在職三十年以上
 - 安井 玄吾議員 議員在職二十五年以上
 - 中畑 忠男議員 議員在職二十年以上
 - 感謝状
 - 明石 清彦議員 全国市議会議長会相談役
 - 中島 武議員
 - 都留 鶴夫議員
 - 花田 武人議員

おしらせ 請願と陳情

請願

採択されたもの

- 保育所の設置について(若松区楢住)
- 老後の生活保障について
- 足原幼稚園第二期工事促進方について
- 道路の拡幅について(戸畑区明治町)
- 市道の認定について(小倉区下徳力)
- 消防賞じゅつ金等の増額について
- 上水道の敷設について(小倉区中吉田)
- 消防協会共済会に対する補助金の交付について
- 身障者福祉事業に対する助成について
- 市道の移管について(門司区大里)
- 水道本管の延長敷設について(八幡区折尾)
- 国家公務員共済若松病院の閉鎖反対について
- 足立学園の増築について
- 在宅肢体不自由児の福祉対策について
- 小倉養護学校の増設について
- 九州海運局若松支局船舶検査官の常駐について
- 北九州高等学校の仮校舎への移転および本校舎建設について
- 戸畑区弓道場の設置について

- 市立小倉弓道場の管理委託について
- し尿くみ取り回数増加について(門司区谷町)
- 野犬の捕獲について(門司区元谷町)
- 市営バスの全市路線延長について
- 市営桃園庭球場の整備について
- 上水道の敷設について(門司区吉志)
- 上水道の敷設について(門司区白ノ江)
- 西鉄バスの増発について(門司区白ノ江)
- 健康保険本人十割給付の引下げ反対等について
- 公衆電話および電話ボックスの設置について
- 枝光中学校第二運動場金網外柵の設置について
- 山ノ口小学校舗装路の延長舗装について
- 断水時間の短縮について
- 給水車による飲料水の保証について
- 工業用水の制限について

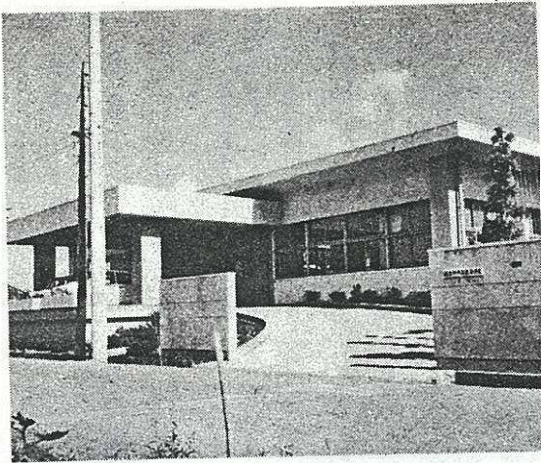
不採択になったもの

- 市立八幡美術館美術収蔵品の購入について(理由)趣旨にそいがたい
- 市営バスの料金値上げ反対について(理由)趣旨にそいがたい
- 給水制限による損害の補償について(理由)趣旨にそいがたい
- 水道料金の値上げ反対について(理由)現在審議することは適当でないため

陳情

採択されたもの

- 郵便物の日曜配達廃止について
- 児童公園の建設について(小倉区白藤町)
- 建築の規制について
- 道路の改良について(小倉区根田公団住宅)
- 側溝改修について(小倉区上到津)
- 市道の認定並びに舗装について(小倉区浅野町)
- 道路の舗装について(小倉区湯川)
- 公園の設置について(小倉区山路町)
- 尾倉中学校周辺の道路舗装について
- 道路の新設拡充について(八幡区木屋瀬)
- 運搬車専用道路の設置方について



足立学園

不採択になったもの

- 十次製紙小倉工場移転の跡地の活用について
- 言語障害児の治療対策について
- 門司ヶ関学園改築に対する補助金の交付について
- 小倉区足立寮新改築に対する補助金の交付について
- 交通信号機の設置について(小倉区金田町)
- 道路の舗装について(戸畑区小芝町)
- 市道の舗装について(小倉区白銀町)
- 道路の舗装促進について(門司区新羅町)
- 道路の舗装について(門司区大積)
- 道路のしゃ断物の撤去について(理由)趣旨にそいがたい
- バスターミナル建設について(天神島小跡地)(理由)趣旨にそいがたい
- し尿くみ取り取り扱業者の指定について(理由)趣旨にそいがたい
- 八幡川の改修について(理由)趣旨にそいがたい
- し尿処理について(小倉区母原紫川団地)(理由)趣旨にそいがたい
- じんかい処理について(小倉区母原紫川団地)(理由)趣旨にそいがたい